

ゆりはま議会

第55号

平成29年8月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



梨団地を整備
新中学校の進ちよく
英語教育の先行実施

2

5

8

「めざせ 東京オリンピック」

(湯梨浜町児童水泳大会)

6月
定例会

平成29年第5回6月定例会

松崎駅の南側に梨団地を整備

梨生産量の維持に向け

平成29年6月定例会が、6月9日から16日までの8日間の会期で開催されました。

今定例会に提案された平成29年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された23議案すべて、原案のとおり可決しました。

また、議員発議による国に提出する意見書1件も原案とおり可決しました。

補正予算

☆一般会計

歳入歳出それぞれ1億4千185万円を追加し、補正後の予算の総額を124億9千185万円とする。

2地区への助成を承認

・コミュニティ助成事業

350万円

宝くじ収入を活用して、新川区と長和田区のコミュニティ活動に必要なパソコンなどの整備に対して助成する。

東田後区にAED・テントなど整備

・自主防災組織

コミュニティ助成事業

180万円

宝くじ収入を活用して、東田後区の自主防災活動に必要な備品及び資機材の購入に対して助成する。

旧岡本家土蔵を解体撤去

・施設管理費

257万円

門田地内の旧岡本家の土蔵屋根などが老朽化し、落下の危険があるため撤去し、隣接道の安全通行を確保する。

個別受信機を補充

・防災行政無線管理臨時経費

378万円

緊急時の通信手段としての防災無線の個別受信機が、不足するため補充する。



老朽化がいちじるしい土蔵（旧岡本家）

音声告知器を 追加購入

・ゆりはまネット臨時
経費

760万円

町内の超高速光ファイバー網の安定した維持及びサービスを行うために、音声告知器の追加購入など、ゆりはまネットの機器を整備する。

風車発電設備の 復旧

・新エネルギー施設管理臨時経費

498万円

今年2月の落雷により、潮風の丘とまりに設置した風力発電設備が破損したため、復旧工事を行う。

地域包括ケアシ テムの構築

・生涯活躍のまち推進事業（包括ケアシステム構築）

500万円

地域包括ケアシステムの確立に向けた取り組みとして、効果的な相談・支援体制を整備する。

崩壊した四ツ手網 を再整備

・観光施設等災害復旧事業

812万円

昨年の鳥取県中部地震により、崩壊した松崎三区の東郷池の四ツ手網の復旧工事を行う。

梨団地の整備に向け （第一期事業）

・農地耕作条件改善事業

4千946万円

松崎駅南側の水田を畑地転換して、梨団地

を造成するために必要な測量設計費及び造成工事を行う。全体工事は3か年計画。

学校一丁の セキュリティを強化

・事務局臨時経費

700万円

町内の小中学校の教育系ネットワーク情報のセキュリティ強化のために、必要な機器の更新及びネットワークを整備する。

☆下水道事業特別会計

人事異動及び共済費の負担金率の変更などによる人件費の増額及び国庫補助事業である公共下水道事業の配分額の増額に伴う管渠更生工事費の増額による1億1千901万円の増額補正。

条例改正

☆湯梨浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

国の人事院規則の一部改正に伴い、こども園などに保育の利用申込みをしているが入所できない場合に、再度、育児休業等が行えるようにするなど、職員の育児環境の改善を



下水道管の長寿命化工事（長江）

はかるために所要の改正を行うもの。

人事案件

☆湯梨浜町農業委員会委員の人事案件に同意した。（敬称略）

山下 和子（田後）
山上 真治（田後）
清水 武敏（上浅津）
山下 昇（光吉）
蔵本 孝広（宇野）
山本 壽孝（宇谷）

☆長瀬財産区管理委員の人事案件に同意した。（敬称略）

谷岡 貞幸（宇谷）
土井 繁美（方地）
横川 力（方面）
中村 博（高辻）
土海 政信（埴見）
長谷川誠一（野花）

任期は、平成29年7月20日から平成32年7月19日まで。

山田 昭雄（はい長瀬）
神崎 勝治（はい長瀬）
村上 克己（はい長瀬）
林 雅則（はい長瀬）
岩室 邦彦（久留）
松本 憲一（はい長瀬）
入江不二夫（田後）

任期は、平成29年7月14日から平成33年7月13日まで。

一般会計補正予算（第1号）

質 疑

**学校ネットワーク
セキュリティ事業
補助金は**

問

県内すべての小学校のネットワークを整備するのに、国や県の補助金はないのか。要望するべきでは。

答

各学校でネットワークの設置年度、機器などが違い、国・県の補助はない。県に補助金要望したが、認められなかった。ネットワーク現状調査については、昨年度負担で実施した。

**旧岡本家
今後どうする**

問

門田区の旧岡本家の管理は、今後どうするのか。

答

今回は土蔵が一部破損しており、危険であり解体する。本宅も老朽化しており、地元区とあり方について協議をしたい。

**四ツ手網
修復方法は**

問

四ツ手網の修繕は、今回は何箇所か。

答

今回は松崎3区の1箇所。松崎1区の方は昨年度から修繕を進めている。



被災した四ツ手網（松崎3区）

問

地震の影響で傾いたが、沈下の対策は。

答

杭を鋼管製にして耐久性を持たせ、杭の下に施工板を置いて、支持力を持たせるよう検討している。

反対討論

【光井議員】

風力発電の経費は、説明が不十分で内容が稚拙。農地改善事業は、観光農園から梨団地に向転換した説明が事前になかった。旧岡本家については、もう少し慎重になるべき。

本会議での採決結果 6月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対)	松岡	浦木	光井	会見	米田	寺地	上野	濱中	増井	竹中	河田	結果
湯梨浜町一般会計補正予算 (第1号)	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	賛成8人 可決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

※上記以外の23議案は全会一致で可決及び同意しました。

陳 情 審 査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳 情 者	審査結果
北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情	幸福実現党鳥取県本部 代表 菅田千賀子	不採択 (要望内容は具体的には不可能であると思われる)
地方財政の充実・強化を求める陳情	湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 西田貴頼	採 択 (政府に意見書を提出)

どこまで進んだ 新中学校

校舎棟は、5月15日から、くい打ち工事を開始。163本を打設予定で、6月8日で94本打った。屋内運動場・体育館は、くい打ち工事を完了。現在、基礎工事を行っている。外構工事は、基礎の位置が北と東側で、ほぼ完了した。



順調に進む中学校建設

工事の進ちょく状況は、5月末の4.25%の計画に対し、4.5%の進ちょく率である。

騒音と振動は、作業によって50から55デシベル程度。通常作業では、40から50デシベルで推移している。国の規制基準は、騒音85デシベル以下、振動75デシベル以下である。湯梨浜町は規制該当地域ではないが、この基準を守るよう進めている。

開校準備委員会は、セーラー服のアンケートを実施中。町内各施設に見本を巡回展示しており、7月中旬までにまとめる予定。

建築設備と備品については、調整している。



検討中のセーラー服

上水道の安定供給に課題

☆良質な水を、町内住民すべてに安定的に供給する責任が町には課せられている。それにもとづいて、委員会では活発な議論が行われた。



住民の水がめ羽合浄水場（田後）

問 昨年12月27日から29日にかけて、羽合地域で、工事施工中の不具合によって断水が発生した。

火災が発生していたら大災害につながりかねないと思う。

以前から、町内すべての水を巡回させるループ配管、他市からの水の供給、新たな水源地の確保などを指摘していたが、その後の取り組みは、

答 ループ配管については、合併当初から湯梨浜町内をネットワーク化しようということで、合併特例債をつぎ込んで事業化を進めてきた。

しかし、赤水の発生があり、その対策に取り組んだため、ループ配管が遅れている。

他市からの水の供給に

については、水道局と事務折衝しながら、前向きに取り組んでいる。

水源地確保については、前処理が必要な井戸ではなく、そのまま原水として使える井戸を探さないといけない。

以上3つの点は、水を安定供給するための重要事項であり、同時進行していきたい。

問 簡易水道、下水道について、経営

戦略に取り組まなければ、地方交付税措置が停止となるが、どう考えているのか。

答 簡易水道について、現在補助事業

がなくなくなると聞いている。実際、簡易水道を上水道に合併統合を検討している。

下水道については、公共下水道、特別環境整備事業、農業集落排水事業などが入り込んでおり、それぞれの経営戦略が

必要である。策定できなかった場合、交付税措置がなくなるので、現在策定に取り組んでいる。

水明荘60周年

問 水明荘の運営状況は。

答 昨年10月の震災、今年1月、2月の

雪災害などの影響で、あわせて288名の宿泊減となった。

売上高は、2億7千537万円で、前年比878万の減。

本年5月までの宿泊動員数は、昨年よりプラスで推移している。

問 設立60周年に向けての計画は。

答 60周年の特別プランを考えており、既に3種類をホームページに掲載している。

8月と10月には、より充実したものを計画している。

松崎駅南側に梨団地

☆JR松崎駅南側の水田の一部を梨団地に転換し、梨生産基盤整備をはかる。

新甘泉などの新品種導入を進め、作業の効率化と収益性の向上をはかり、新規就農や後継者育成につなげる。



計画中の松崎駅南側の水田

問

当初、果実部、JAの関係者から

観光梨園・観光園の構想で、町および議会に提案があったが、いつの間にか別事業「農地耕作条件改善事業」に変更され、議会には説明がなかった。その経過はどうだったのか。

答

当初の予定では、JAと町とで2分の1ずつ出資して、第3セクターを設け、入植後の運営を行うことを想定し、果実部とJAから町に陳情された。

協議の結果、観光梨園は難しく、今必要なのは生産基盤整備であり、最終的には4月28日にJAと町で確認の場を持ち、町が生産基盤整備を実施することを確認した。

問

事業を方向転換するのは分からなくもないが、議会にも要望をしたなら、経過説明をするべきでは。

答

今後は十分に注意し、議会に報告していきたい。

問

本来は、何が一番の目的、要求だったのか。要望された方の一番の思いは何だったのか。

答

農地の再利用だと思われる。
JAとしては、梨の栽培面積を増やしたいという構想があった。

どうする

風力発電

☆落雷・経年劣化による故障の修繕対応と、平成34年までの収支見込みが報告された。

問

これまでほとんどマイナス収支だったのが、なぜ平成30年から黒字になるのか。

答

平成27年度で借入金の返済が終了。発電量は過去の実績

問

故障を避けることが、発電確保に大切。対策は。

答

早い修理を心掛けている。電流が逆流しない設備を平成26年に整えた。

問

今後のあり方を検討するべきだ。

答

現時点では、継続の方向。



故障中の風力発電施設

平成30年度から 小学校で英語教育を先行実施

☆平成28年度の町教育行政の点検の結果、英語教育の評価が低かった。

平成32年度より、小学校での英語教育の本格実施に向け、平成30年度から先行実施される。



ALTによる英語教育（東郷小）

問 町では、小学校3・4年生の外国語活動、5・6年生の教科化を平成30年度から先行実施する。

本年度の対応方針に記載がないが、

答 記載したほうが良かったと考えている。

問 第三者評価にも、英語教育の推進は、あまり評価が上がっていない。

答 先生が指導方針を検討し、平成32年度の本格実施に向け対応したい。

5つの目標と 26の施策を実施

☆学校教育と社会教育などの重点施策がまとめられ、平成29年度教育要覧が示された。

問 コミュニティスクール導入とは、「地域運営学校制度」と同じものか。

答 学校地域運営協議会が、発展的になったもので、国から設置の努力義務を課された。

問 これまで導入できなかつたのは、学校が二の足を踏んできたようだが。

答 協議会が、教職員の人事に介入できるため、消極的だった。運用面で、学校と協議し進めていく。

茶町おどり保存会 全国日本民謡講習会 に参加

に

問 講習会に参加することになった経緯は。

答 公益社団法人日本フォークダンス連盟、全日本民謡指導者連盟から要請があった。



講習会で披露された茶町おどり

問 町民への普及は。

答 保存、伝承については、今後も取り組んでいく。

どうなる泊地域のこども園の行方

☆泊地域のこども園（あさひ・わかばこども園）の在り方検討委員会を昨年9月に立ち上げ、検討を重ねてきた。その中で、アンケート調査が実施され、その集計結果を参考に、今後議論していくことの報告を受けた。



元気に踊る子どもたち（あさひこども園）

問 アンケート調査の結果は。

答 大勢は統合したほうが良い、あるいは2園残したいが、統合やむなし。

次回の検討委員会で、どちらを残すかを議論する。

問 アンケート調査の結果では、44パーセントの人が統合に反対している。

地域住民に理解を得ていく必要があるが。

答 泊地域だけの話だけでなく、町全体の問題として捉える必要がある。

協議を重ね、方向性を持ち、集落に出向き説明をしていく。

どうする旧岡本家

問 旧岡本家の土蔵解体工事は、町費負担だが、町の管理なのか。

答 旧東郷町時代に土地、建物の寄付を受けている。文化財ではない。

問 母屋も、棟瓦が崩れかけているなど危ないが、今後どう管理するのか。

答 建物は老朽化している。更地にしたとき、地元で活用できるかなど、地元と協議してみたい。

民生児童委員と意見交換会

6月21日、「湯梨浜町民生児童委員協議会・児童部会」のみなさんと子どもの健全育成、子育て家庭への支援活動などの課題、組織の周知について、意見交換会を行った。

児童部会からは、
①就学援助費認定家庭への対応について
②不登校、児童虐待について

③自主学習の広場の運営について
多くの課題があることが述べられた。

議員からは、行政と民生児童委員の認識のずれ、行政との連携状況、他町での活動状況などを質問。

今後、各課題について、教育民生常任委員会として協議していくことを確認した。



熱く語る民生児童委員

町政を問う!

6月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

質問者	質問事項	ページ
米田 強美	1. 梨農業で移住促進を	10
松岡 昭博	1. 地域を支える人づくりを	11
	2. 農福連携などによる果樹園の中間管理を	11
上野 昭二	1. まちづくり会社へのスタンスは	12
	2. IJUターン政策の充実強化を	12
会見 祐子	1. 福祉タクシーの助成の拡充は	13
	2. 学生時代から特殊詐欺への対策を	13
増井 久美	1. 子どもの居場所づくりに支援を	14
	2. ごみ袋の無料化を	14
竹中 寿健	1. 非核平和宣言の標柱の設置を	15
	2. 北朝鮮の核・ミサイル発射の見解は	15

①二十世紀梨の栽培面積は、大きく減少している。5年10年先は、どの程度の面積になると予想しているか。

②現在「生涯活躍のまち」構想により、移住促進を進めているところである。

移住先に求められること、仕事と住まいがある。二十世紀梨の担い手として、仕事と住まいを提供することにより、移住促進につながると考えるが、町長の所感を問う。



米田 強美



技術の習得に励む研修生

【町長】①近年毎年5〜10ヘクタール減少し、昨年は二十世紀梨10ヘクタールの減少、うち6ヘクタールは品種変更のための減。今後、年2ヘクタール程度の減少との想定では、梨全体の栽培面積は、現在168ヘクタール。5年後は158ヘクタール、10年後は148ヘクタール。

②相談会やセミナーなどのさまざまな機会を活用し、農業を含めた仕事と住まいへの各種支援制度など、効果的な周知に取り組んでいきたい。

また、前向きな移住者の受け入れを県と連携しながら進めていく。

梨農業で移住促進を

町長

効果的な周知に取り組む

地域を支える人づくりを

教育長

外国語活動は、教師の指導力などが課題



松岡 昭博

本町では、小学校の英語教科化、英語活動を先行実施するが、問題点と改善対策を問う。

ふるさと教育で、子ども達に地元に戻って来てほしいという教育を行うのではなく、帰りたいくなるようにすることが、政治の役割ではないのか。

より重要なことは、今以上に、多くの移住定住者が集まるように、町内の就職情報の提供などを含め、一層施策を充実し、広くPRすることではないのか。

【町長】移住問題では子どもたちが語っている、

「明日を生きるまち」の動画の作成や、主要都市でPRに取り組んでいる。

本年度は、「ゆうゆうゆりはま」と題し女性活躍をメインにしたポスターを掲示し、町全体の産業などを強くPRしている。

【教育長】外国語活動の課題は、第一に教師の指導力、授業時間の確保、教材の整備、評価の方法など考えられる。その対策としてALTとの合同授業を引き続き実施していく。



外国語活動に熱心に取り組む小学生（東郷小）

農福連携などによる

果樹園の中間管理を

町長

J Aなどと検討していく

【町長】現在、梨生産維持のため、新品種導入・オリジナル二十世紀梨の苗木、さらに産・官・福・学連携事業など、支援に取り組んでいる。

果樹園、東郷梨のブランドを維持するために、農福連携による中間管理により引き継ぐことができれば素晴らしいことである。

しかし、それ以上に、新たな従事者の確保は、農業が抱える問題と共通する大きな課題であり、事業化できる分岐点になると思われる。

今後、J Aや中間管理機構などとも意見交換し、検討していきたい。



農福連携で取り組む果樹園（山田谷）

まちづくり会社へのスタンスは

町長

有益な業務は委託する



上野 昭二

まちづくり会社を中心
に、湯梨浜町版CIRC
構想を掲げ、サービス付
高齢者住宅整備事業をメ
インに置いた、移住定住
策を柱に、活性化をはか
ろうとしている。

本来、行政がやるべき
ものを、その都度まちづ
くり会社へ、どんどん業
務委託するのが問う。

また、委託する前に
は、あらかじめ町との
役割分担の全容を、明
確にした上で進めるの
が問う。

【町長】生涯活躍のまち
の推進にあたり、民間活



サ高住と町営住宅の建設候補地
(旧ミドリーク跡地)

力を活用するため、まち
づくり会社を設立した。

町にとって、業務委託
する方が有益な業務は、
まちづくり会社に委託
し、全てを委託しようと
思っていない。

松崎駅前の旧Aコープ
を活用した多世代地域交
流拠点施設は、町が整備
し、まちづくり会社で運
営する構想。

また、旧ミドリーク
跡地の活用計画は、町が
提案し、整備や運営につ
いては、事業者で行う構
想である。

「J」ターン政策の充実強化を

町長

移住者の住宅支援の 充実を検討

当町の移住定住支援

は、当事者視点に欠け、
内容が充実している隣町
を選定したケースが4、
5件あったという、残念
な話を聞いた。

移住希望者にとって、
生活環境が一番だと思
うが、現実問題として、

移住にかかる初期費用へ
の支援が、大きな魅力だ
と考えるが、現行制度で
問題ないのか問う。

競争化している、移住
定住者の受入れ推進に向
け、この先、当町独自の
新しい戦略はあるのか。

【町長】移住定住の初期

コストの低減策は、住宅
の新築・購入に対する支
援や、県事業創設に先立
ち実施している家庭での
子育て支援などを実施し
ている。支援内容が隣町
より見劣りしているとの

指摘は腑に落ちない。

移住定住促進のために
は、知名度向上は重要で
あり、移住定住相談会な
どへの参加回数増や、生
涯活躍のまちなどの情報
発信を充実させたい。

移住支援策は、県外か
らの転入者が住宅新築・
購入時の支援の充実を検
討したい。



移住定住者に空き家を活用（川上地区のお試し住宅）

福祉タクシーの 助成の拡充は

町長

支援期間の延長は検討



会 見 祐 子



駅前に待機するタクシー（倉吉駅前）

障がい者、難病患者、人工透析者、高齢者の免許返納者へのタクシーチケットの助成が始まった。特に、近年の高齢者の痛ましい事故により、免許証返納を促進するための助成制度である。しかし、一年間だけの助成では厳しい。継続できないか。

【町長】支援期間の延長については、一定の年齢以上の免許を持たない方にも実施するには、何歳から対象にするのか、需要が多ければ、休止しているコミュニティバスの活用などを検討してみたい。

また、元来免許のない高齢者、妊婦、乳幼児を持つ女性にも拡充されないか。

妊婦、乳幼児を持つ親への助成については、大半の方が自分の運転で受診されており、現時点では助成は考えていない。

学生時代から

教育長

特殊詐欺への対策を 消費者教育の推進に努める

現在、40～50才代の特殊詐欺被害が増大している。

安心安全な暮らしを守るには、積極的な活動が必要である。

幼児期、学生時代からの教育が導入されるべきだと思ふ。教育委員会、民生児童委員などと事業に取り組むことを提案する。

幼児や学生は、疎遠になりがちな高齢者に、はがきを送付し絆を深めることなどで、被害を防止する事業を行うべきである。

【町長】インターネットが生活に入り込んでいる若者にとっては、特殊詐欺にあう危険性はかなり高い状況にある。学校、家庭の場において消費者教育に取り組むことは大切なこと。

地域サロン、見守りカフェを含め、各団体、学校と協議し検討したい。

【教育長】町部局とも連携し、学校教育の中で消費者教育の推進に努める。

織りの中で体制を強化していく。

特殊詐欺被害者防止メッセージの送付は、学校と協議し検討したい。



詐欺防止の標柱（鳥取県庁前）

子どもの居場所づくりに支援を

町長

県の補助金を活用し 積極的に行いたい



増井久美

平成25年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が全会一致で可決成立し、公布された。子どもの居場所としては学童保育があるが、最近では「子ども食堂」が開かれるところが増えている。

昨年、東田後区で「子ども食堂」開設の要望があったが、どうなったか。また、町としてどう支援するのか聞きたい。

内閣府子どもの貧困対策担当が、子どもの貧困対策実態調査に交付金が活用できると言っている。実態調査をしてはどうか。

【町長】東田後区での



寺子屋で学習する子どもたち
(東田後区)

「子ども食堂」の開設は、対象者の範囲、時間などが町の想定に合わず実施できなかった。

居場所づくりへの支援は、県の補助金を活用し、積極的に行っていきたい。

実態調査については、昨年度にアンケート調査を実施。分析し、必要な施策を検討する。

【教育長】子どもの居場所づくりとして、「放課後子ども教室」、「ゆりはま自主学习の広場」などを開設している。

貧困対策としては、就学支援制度を設けている。

ごみ袋の無料化を

町長

受益者負担が原則

町民の暮らしは年金が

下がり、消費税は取られ、各種負担で生活は大変厳しい。暮らしに直結しているごみ袋の値段を引下げてはどうか。

合併前の3町村でいちばん低かったのはどこで、ごみ袋の原価と売上額の差はどれくらいか。

また、10枚入りセットをスーパードコンビニなどでも購入できるようにするべきである。

町民の暮らし応援のためにも無料化をめざすべきではないか。

【町長】一般用指定ごみ

袋は一枚あたり大が30円、小が25円で50枚入りを販売している。販売総額は1千604万円。

一枚あたりの原価は、大が11・88円、小が9・72円で、購入費用は

633万円。

販売額と原価の差は971万円だが、販売手数料、ごみ収集委託料、処理負担金に8千200万円かかるため、この財源に充当している。

合併前は、旧泊村が8円、旧羽合町が25円、旧東郷町が30円だった。

10枚入りの販売協力店は13店舗あるが、再度小分け販売の普及をはかっていく。

無料化については、ごみの削減や、ごみ処理費などへの受益者負担の考えを取り入れており、理解いただきたい。



なかなか減らない可燃ごみ

非核平和宣言の 標柱の設置を

町長

設置に向け検討してみたい



竹中寿健



琴浦町役場前に設置されている標柱

「非核三原則」を遵守し、世界で唯一の被爆国として人類が平和に生き続けるために積極的な役割を果たす責務がある。本町にあってもその役割と責務がある。

本町では、「核兵器廃絶・平和の町」宣言が湯梨浜町合併にともない引き継がれた。

しかし、その宣言の標柱が設置されていない。平和を希求する町として誇りをもって早急に設置されたい。

【町長】本町は、平成16

年12月に「非核平和」「暴力追放」「人権尊重」など、都市宣言を決議した。

それを機に、標柱や看板を設置しているが、「非核平和」の標柱は設置していない。

明るく住みよい町づくりに向けて、都市宣言の周知と、核のない世界の実現への取り組みに参画することは大切。

「非核平和」の標柱は、看板や標柱の全体のある方を点検し、どのような方法がよいか検討してみたい。

北朝鮮の核・ミサイル

発射の見解は

教育長

万一に備えた体制整備をはかる

①北朝鮮の弾道ミサイルの発射に対して世界各国から非難が広がっている。

これまでに発射された弾道ミサイルは、排他的経済水域内などに落下した。

国連安保理は非難するとともに「制裁を含め重大な措置を取る」と警告している。

中止させるためには、軍事的圧力だけでなく平和的あらゆる外交努力が必要ではないか。深刻な犠牲が必至の軍事的選択肢は取るべきではないと思うが見解を問う。

②万一、緊急事態が発生した場合の対策などについて問う。

【町長】①北朝鮮は、国際社会の強い警告を無視し、度重なるミサイル発

射をしており、仮に軍事衝突が起これば、大惨事が考えられる。

日米韓同盟国や、中国、ロシアなども連携し、今後も対話による問題解決を望む。

②ミサイル落下の備えは、Jアラートや防災無

線、携帯電話の緊急速報メールにより周知される。

また、武力攻撃には、国民保護計画により、最悪の場合に備え、避難誘導を行うなど、万一に備えた体制整備をはかつていく。



平成27年度の防災訓練（役場災害対策本部）

※竹中議員はこのほかに「平和行政の取り組み」について質問しました。

町民インタビュー

放課後の学習支援を充実させたい

はわいっ子がんばり教室 代表

田淵 喜之さん（橋津）



大阪市の小学校教員生活に区切りがついたので、橋津地域に1ターンしました。1ターン当初、教員経験を役立てたいと考え、橋津地区公民館で、小学生学習会を始めました。2年前に町教委の支援を受け、本年度は、3名の有志とともに、週2回、羽合小学校2～3年生を対象に、宿題の処理と国語と算数の補充学習に取り組んでいます。

宿題を指導していると、ひらがな・漢字を正しい筆順で書くことができない児童が多いのに驚きました。正しい筆順で書くように助言しても、一度身についた書き方は、なかなか直りません。ひらがな・漢字を書く機会を見つけ、根気強く指導を続けています。

ひらがな・漢字の筆順を確実に定着させるには、学校の授業時数だけでは足り

ない実態があるようです。家庭では、両親共働きが多く、保護者が帰宅しても、家事に追われ子どもの学習を十分に見ることができない実態があるようです。

筆順の定着だけでなく、児童の学力を向上させるには、学校や家庭だけでなく、地域の教育力を生かすことが効果的であります。学校・家庭・地域の役割を明確にして、児童の学習を支援するシステムが作れるよう微力ながら努力していきます。



議会の傍聴をお気軽に

T E L 35-5341

F A X 35-3697

Eメール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

【編集】

議会広報常任委員会

馬ノ山から見る羽合平野は、田植えも終わり、すすくと育つ稲がまばゆい、そんな田園風景は最高です。
ちよつと遠くに目をやると、いまだにブルーシートが目に入ります。一日も早くの復旧を望みます。
梅雨入りしているが、カエルの鳴き声を聞いたことはありません。
今夏は、猛暑の予報です。こまめに水分補給をするなど、体調管理をして、暑い夏を乗り切りましょう。

（記 竹中）

編集後記